

講演会「宇宙人との対話法ー南北코리아 SF 比較研究」を開催

2026年5月25日（月）、立命館大学東アジア平和協力研究センターは、講演会「宇宙人との対話法ー南北코리아 SF 比較研究」を開催いたしました。

本講演会は、講演者である Dafna Zur 氏による 1950～60 年代の韓国および北朝鮮の SF 作品の比較研究を通じて、両国社会が作品に反映させた未来像と価値観を垣間見ることができる貴重な機会となりました。

特に、朝鮮戦争直後という時代状況を反映した体制間競争的な性格が色濃く見られる一方で、北朝鮮においては、科学技術によって国家の未来を切り拓く人材でありながら体制に忠誠を尽くす、理想的な科学者像が提示されており、未来世代がその理想像に近いたちで成長してほしいという一種の願望が表れていました。

韓国においても、作品の内容は反共主義的な性格を帯びているものの、国を貧困などの困難から脱却させ、明るい未来へと導く存在として科学者像が描かれていました。

体制間競争という枠組みの陰に隠れがちな、こうした興味深い共通点は、当時の社会を捉え直すための新たな視角を提示してくれるものであり、本講演会が当時を再考するうえで非常に貴重な機会であったことを示しています。

立命館大学東アジア平和協力研究センターでは言語や分野に囚われず、様々な研究団体との学術交流を積極的に行っております。

●詳細

日時 2026年5月25日（月）17:00-18:30

会場 立命館大学衣笠キャンパス 末川記念会館 講義室

主催 立命館大学東アジア平和協力研究センター・立命館大学코리아研究センター

後援 韓国国際交流財団（KF）

●講演者

Dr. Dafna Zur

Associate Professor, East Asian Languages and Cultures, Stanford University

Director, Center for East Asian Studies, Stanford University(2019 - 2025)

フライヤー

立命館大学コリア研究センター・東アジア平和協力研究センター共催企画

スタンフォード大学
DAFNA ZUR先生講演会

宇宙人との対話法

—南北コリアSF比較研究—

1950～60年代の南北朝鮮におけるSF小説は、単なる空想文学ではなく、戦後の体制競争のなかでそれぞれの国家が描いた未来像を映し出す重要な文化資料です。本講演では、韓国と北朝鮮のSF作品を比較しながら、科学技術、宇宙開発、人間像がどのように表象され、それぞれの国家理念や近代化のビジョンと結びついていたのかを考察します。南北朝鮮のSFを通じて、冷戦期の政治的想像力と文化表象の交差を読み解きます。

 **5/25** ²⁰²⁶ _{MON} 17:00～18:30

 衣笠キャンパス 末川記念会館 講義室



Special Speaker DR. DAFNA ZUR

専門は韓国文学、映画、大衆文化研究。著書に「Figuring Korean Futures: Children's Literature in Modern Korea」(Stanford University Press, 2017)があり、植民地期およびポスト植民地期の韓国における児童文学と未来像の形成を論じている。現在は、戦後の南北朝鮮における青少年向け科学・文学雑誌を通じた道徳教育に関する研究に取り組んでいる。北朝鮮SF、朝鮮戦争の表象、韓国大衆文化に関する論考を多数発表し、韓国文学作品の英訳も手がけている。

お申し込み方法

右のQRコードまたは下記URLよりお申し込みください

[HTTPS://FORMS.OFFICE.COM/R/BAJKWRXWWW](https://forms.office.com/R/BAJKWRXWWW)



お問い合わせ先

コリア研究センター
korea@st.ritsumei.ac.jp
東アジア平和協力研究センター
ceapcs@st.ritsumei.ac.jp

KOREA **KF**
FOUNDATION